

膨張式救命胴衣の日常点検を実施しましょう！

海中転落者のライフジャケットが膨張しなかった事例

平成28年、ヨットから乗船者2名が海中転落するなどして漂流する事故が発生しました。

乗船者から携帯電話による118番通報を受けた海上保安庁は、ヘリコプターを出動させ、事故発生から約1時間30分後に2名を救助しましたが、1名の方は命に別状なかったものの、もう1名の方は心肺停止状態でした。

2名とも、自動膨張式救命胴衣（ライフジャケット）を着用していましたが、命に別状なかった方が着用していたライフジャケットは膨張して浮力が確保されていました。その一方、心肺停止の方が着用していたライフジャケットは膨張しておらず、通常の装着状態（マジックテープで閉じられた状態）でした。

膨張しなかったライフジャケットを調べたところ、ライフジャケットを膨張させるためのガスが充気されているボンベが使用済みの状態（封板に穴が開いている状態）でした。

（事故当時の気象海象）

晴れ、南の風8m、風浪1m、うねり3m、気温21℃、水温18.6℃



自動膨張式救命胴衣



自動膨張装置



使用前



ボンベの封板

使用后

（『小型船舶用膨張式救命胴衣「保守・点検」マニュアル』（日本小型船舶検査機構）等より引用）

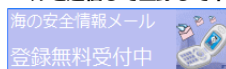
※上の画像と、本事故のライフジャケットとは無関係です。

詳しくは、こちらへ→ http://www.jci.go.jp/jikomanual/pdf/bouchou_lj.pdf

LINK



海の安全情報メール配信サービス →
（空メールを送信して登録して下さい）



海の安全情報スマートフォン用サイト →
（こちらから登録して下さい）

